

2011年3月期 決算説明会

2011年5月16日

前田建設工業株式会社

代表取締役社長 小原 好一



I. 2011年3月期 業績について	(2)
1.2011年3月期 業績（連結）	(3)
2.2011年3月期 業績（個別）と受注の状況	(7)
3.建築事業の業績	(10)
4.土木事業の業績	(14)
5.一般管理費について	(18)
II. 今後の取組みについて	(19)
1.環境認識	(20)
2.今後の取組みのポイント	(21)
3.震災復興への取組みと今後の影響	(22)
4.中期経営計画への取組みと成果	(26)
III. トピックス	(32)

決算詳細説明資料

I .2011年3月期 業績について

I-1-1. 2011年3月期の業績と見込み（連結）

3

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

（単位：億円）

	2010.3月期		2011.3月期						前期比	2012.3月期	
	実績		期首見込		修正計画		実績			見込み	
	(a)	(%)		(%)	(11/12)	(%)	(b)	(%)		(b)-(a)	
売上高	3,286	100	3,200	100	3,070	100	2,918	100	△367	3,070	100
売上総利益	257	7.8	241	7.5	240	7.8	243	8.3	△13	254	8.3
一般管理費	230	7.0	210	6.6	209	6.8	224	7.7	△6	210	6.8
営業利益	26	0.8	31	1.0	31	1.0	19	0.7	△7	44	1.4
経常利益	35	1.1	30	0.9	22	0.7	13	0.5	△22	41	1.3
当期純利益	23	0.7	23	0.7	18	0.6	△25	△0.9	△49	34	1.1

I-1-2. 主要なグループ会社の業績（連結会社）

4

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

（単位：百万円）

	(株)前田製作所			フジミビルサービス(株)			フジミエ研(株)		
	2010.3 月期	2011.3 月期	増減	2010.3 月期	2011.3 月期	増減	2010.3 月期	2011.3 月期	増減
売上高	20,900	21,581	681	14,686	11,431	△3,255	4,086	3,581	△505
営業利益	△999	74	1,073	213	14	△199	△374	△374	0
経常利益	△946	147	1,093	233	33	△200	△320	△367	△47
当期純利益	△1,432	73	1,505	156	30	△126	△556	△1,422	△866

	ミヤマ工業(株)			正友地所(株)			(株)JM		
	2010.3 月期	2011.3 月期	増減	2010.3 月期	2011.3 月期	増減	2010.3 月期	2011.3 月期	増減
売上高	5,058	5,042	△16	484	614	130	10,191	11,018	827
営業利益	20	20	0	120	74	△46	50	△65	△115
経常利益	22	21	△1	65	16	△49	47	△66	△113
当期純利益	27	24	△3	47	31	△16	41	△72	△113

I-1-3. 主要なグループ会社の業績（持分法適用会社）

5

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

（単位：百万円）

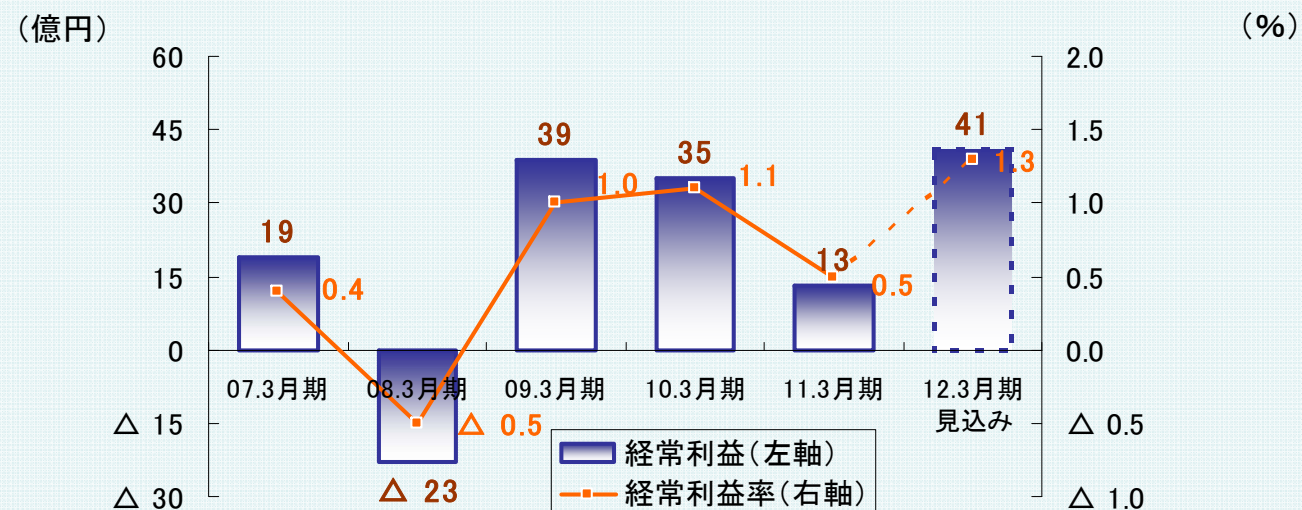
	前田道路(株)			東洋建設(株)			光が丘興産(株)		
	2010.3 月期	2011.3 月期	増減	2010.3 月期	2011.3 月期	増減	2010.3 月期	2011.3 月期	増減
売上高	176,060	173,184	△2,876	124,677	110,751	△13,926	36,136	36,027	△109
営業利益	12,901	9,467	△3,434	3,015	3,752	737	403	367	△36
経常利益	13,031	9,201	△3,830	2,242	3,042	800	503	446	△57
当期純利益	7,052	4,950	△2,102	771	1,069	298	918	194	△724

I-1-4. 経常利益の推移（連結）

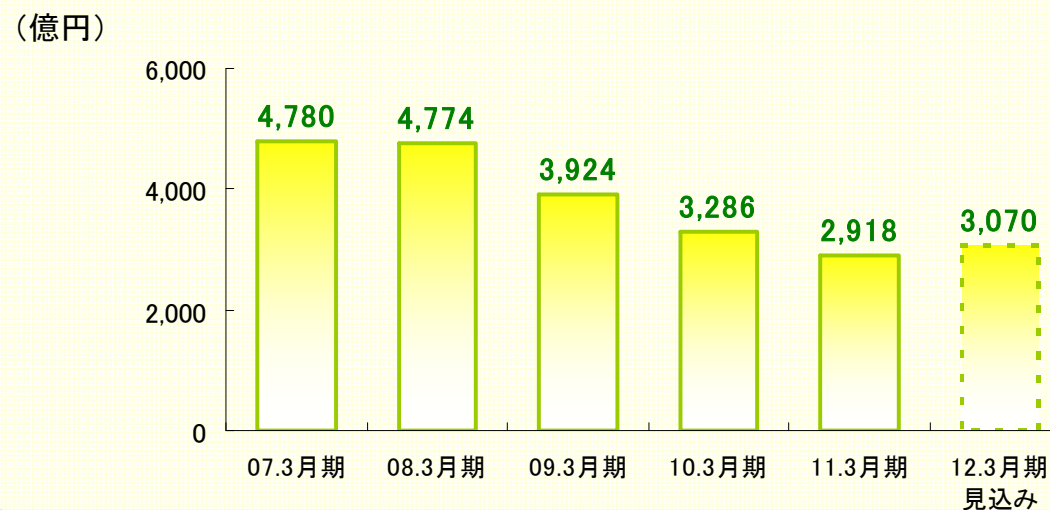
6

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

経常利益



売上高



I-2-1. 2011年3月期の業績と見込み（個別）

7

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

（単位：億円）

	2010.3月期		2011.3月期						前期比	2012.3月期		2013.3月期	
	実績		期首見込		修正計画		実績			見込み		見込み※2	
	(a)	(%)		(%)	(11/12)	(%)	(b)	(%)			(%)		(%)
受注高	2,732		3,300		3,330※1		3,068		335	2,850		3,000	
完工高	2,882	100	2,700	100	2,600	100	2,476	100	△406	2,600	100	3,000	100
完工利益	213	7.4	185	6.9	190	7.3	196	8.0	△16	194	7.5	210	7.0
一般管理費	172	6.0	155	5.7	155	6.0	171	6.9	△0	154	5.9	150	5.0
営業利益	41	1.5	30	1.1	35	1.3	25	1.0	△16	40	1.5	60	2.0
経常利益	41	1.4	21	0.8	18	0.7	13	0.5	△27	30	1.2	—	—
当期純利益	24	0.9	15	0.6	15	0.6	△23	△1.0	△48	25	1.0	—	—

※1) 2011/2/10の修正値

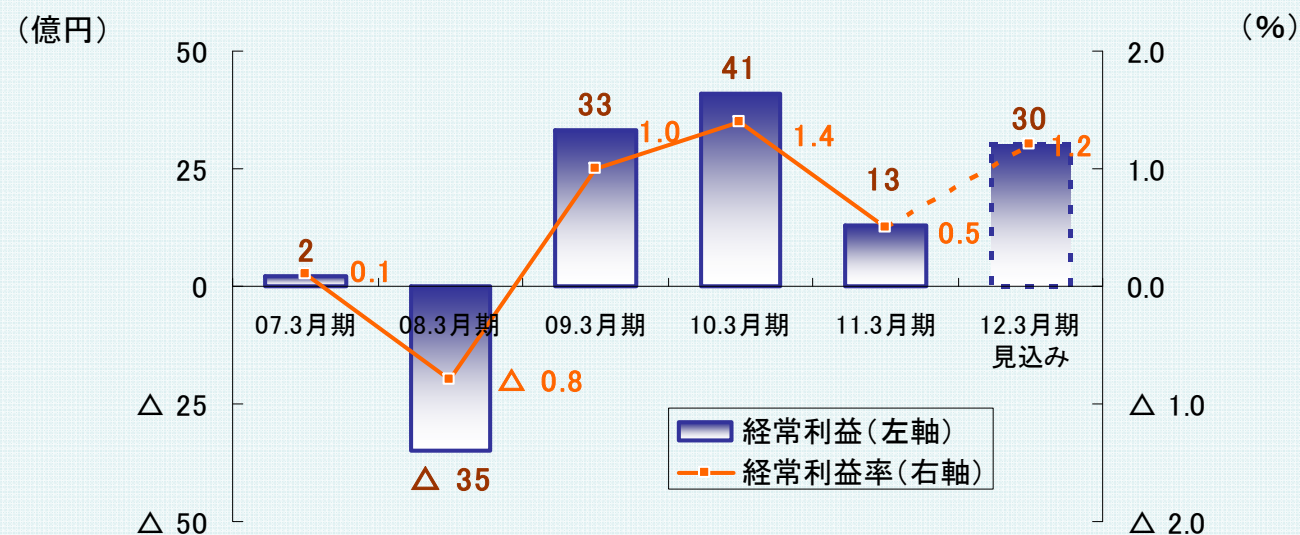
※2) 中期経営計画最終年度

I-2-2. 経常利益の推移（個別）

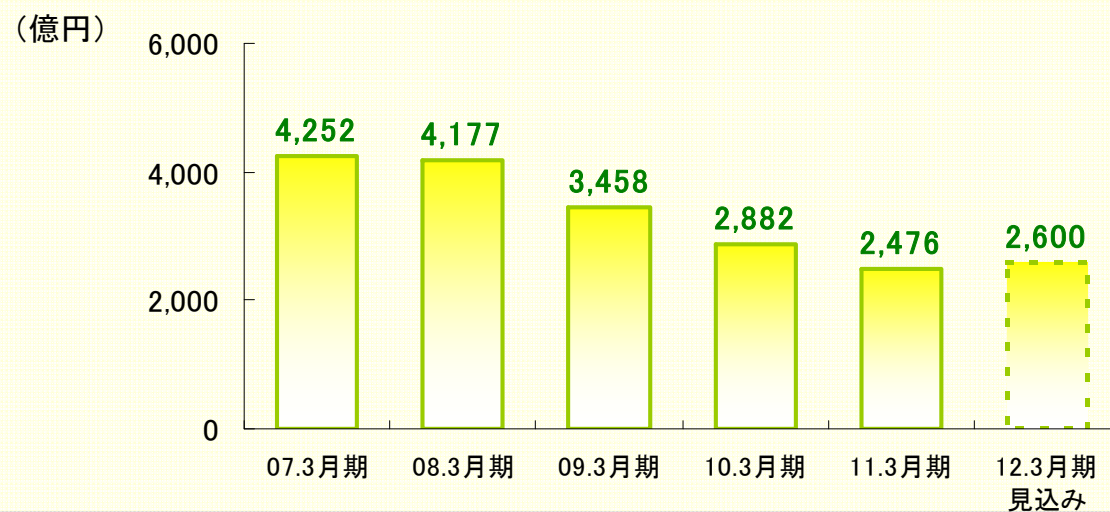
8

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

経常利益



完工高



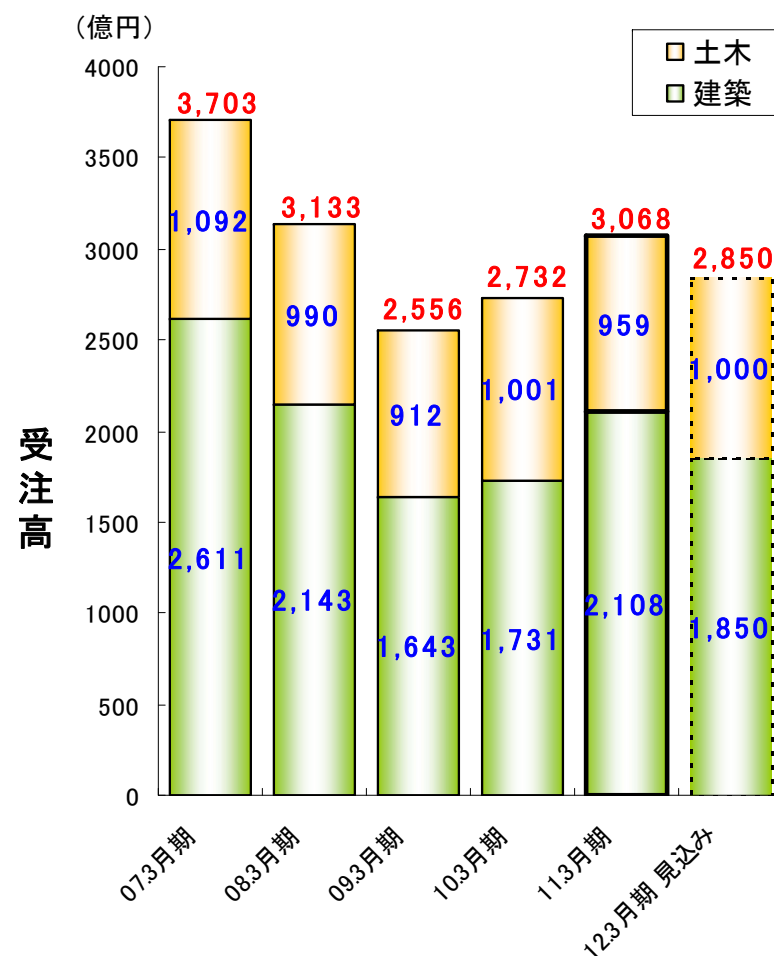
I-2-3. 受注の状況（個別）

9

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

再開発（建築）・海外（土木）が牽引し、受注高増加

受注高の推移



11.3月期の受注状況

		受注高 (億円)		前年同期比
国内	建築	2,079	(1,720)	358
	土木	625	(774)	△149
		2,704	(2,495)	209
海外	建築	29	(11)	18
	土木	334	(226)	108
		364	(237)	126
合計	建築	2,108	(1,731)	377
	土木	959	(1,001)	△41
		3,068	(2,732)	335

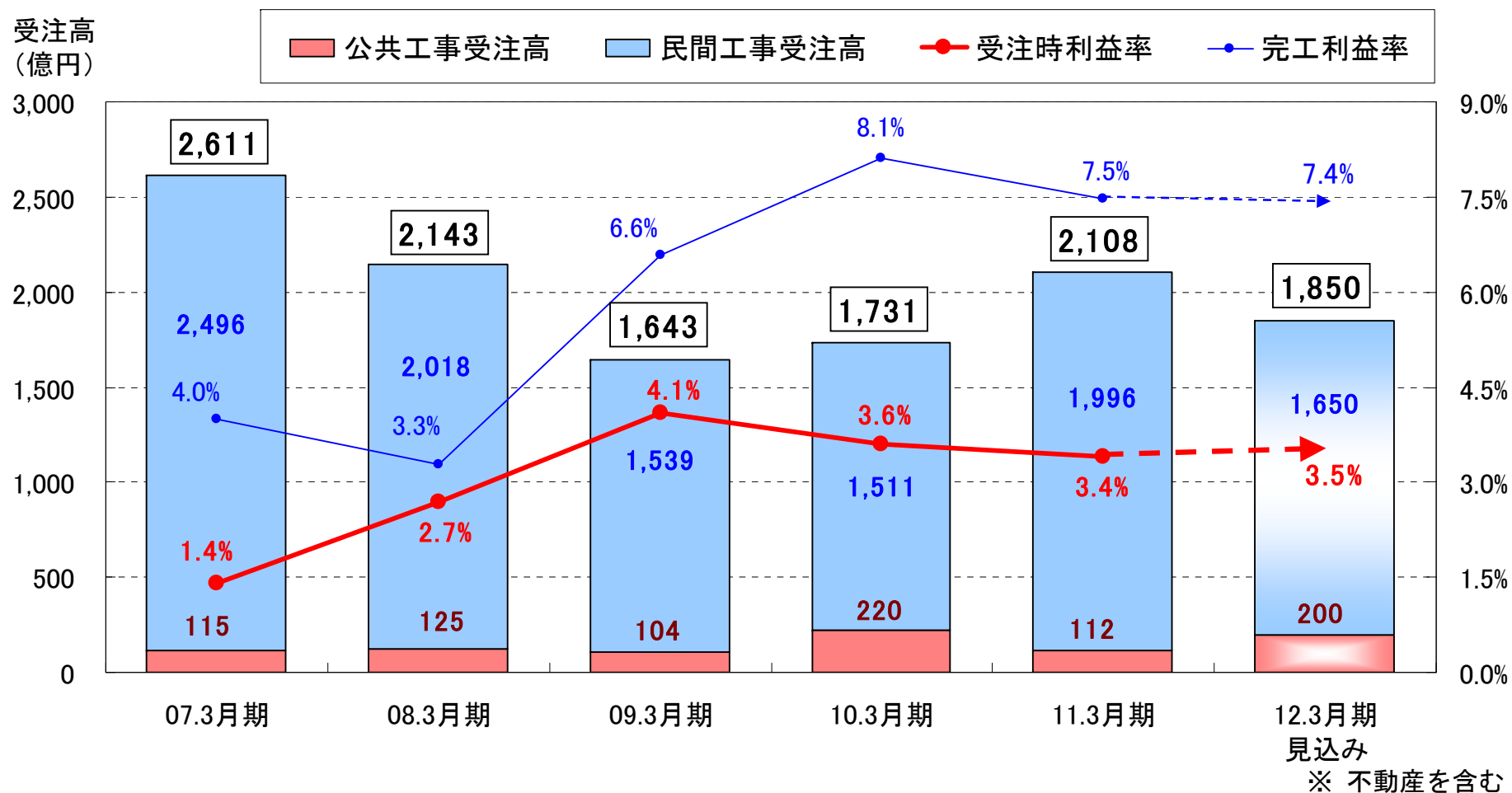
・カッコ内は10年3月期実績

I-3-1. 建築事業 受注高と利益率の推移

10

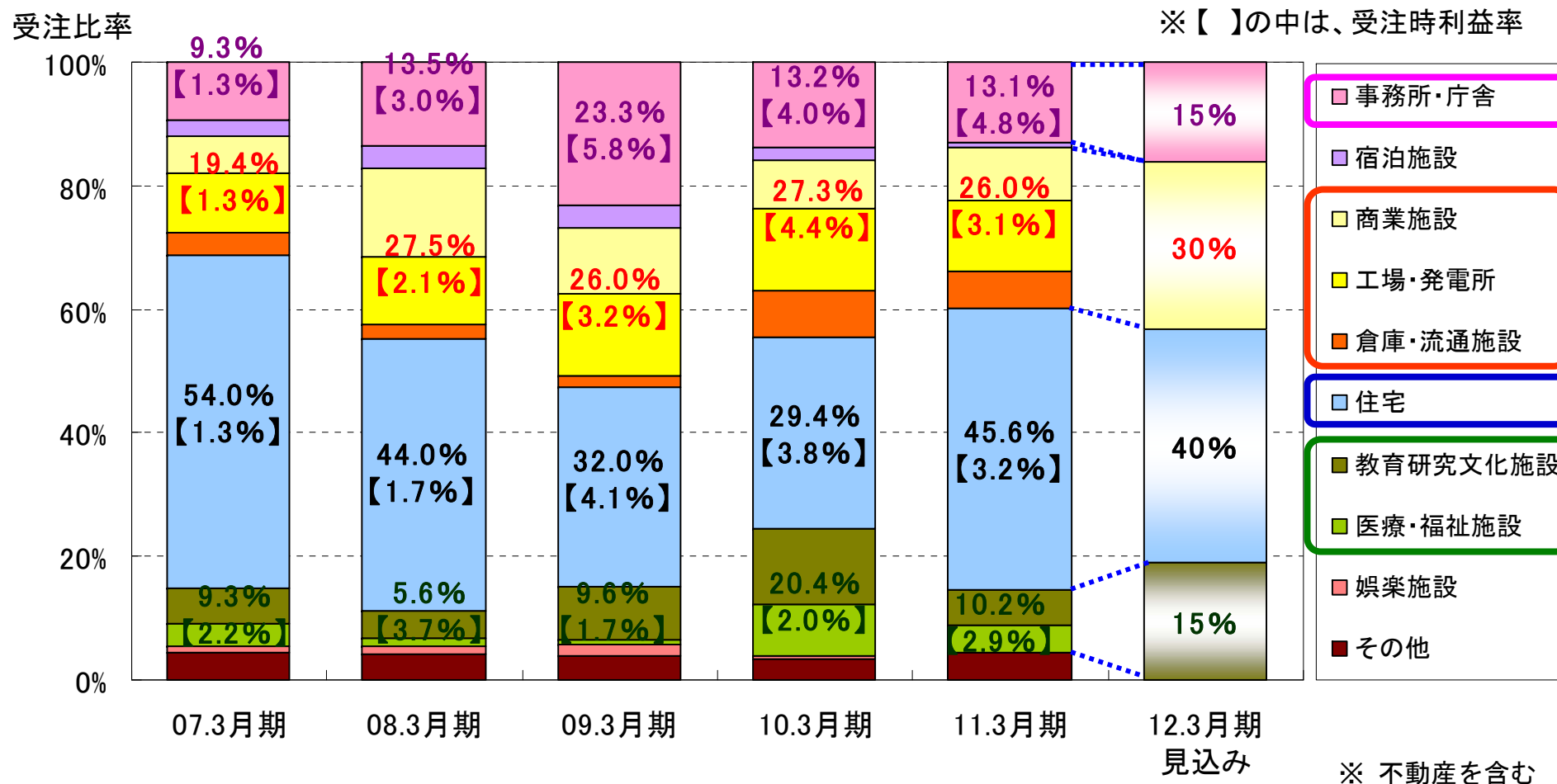
Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

- 受注時利益率を維持しながらの受注高増加
- 大型プロジェクトによる受注高の大幅上乘せ

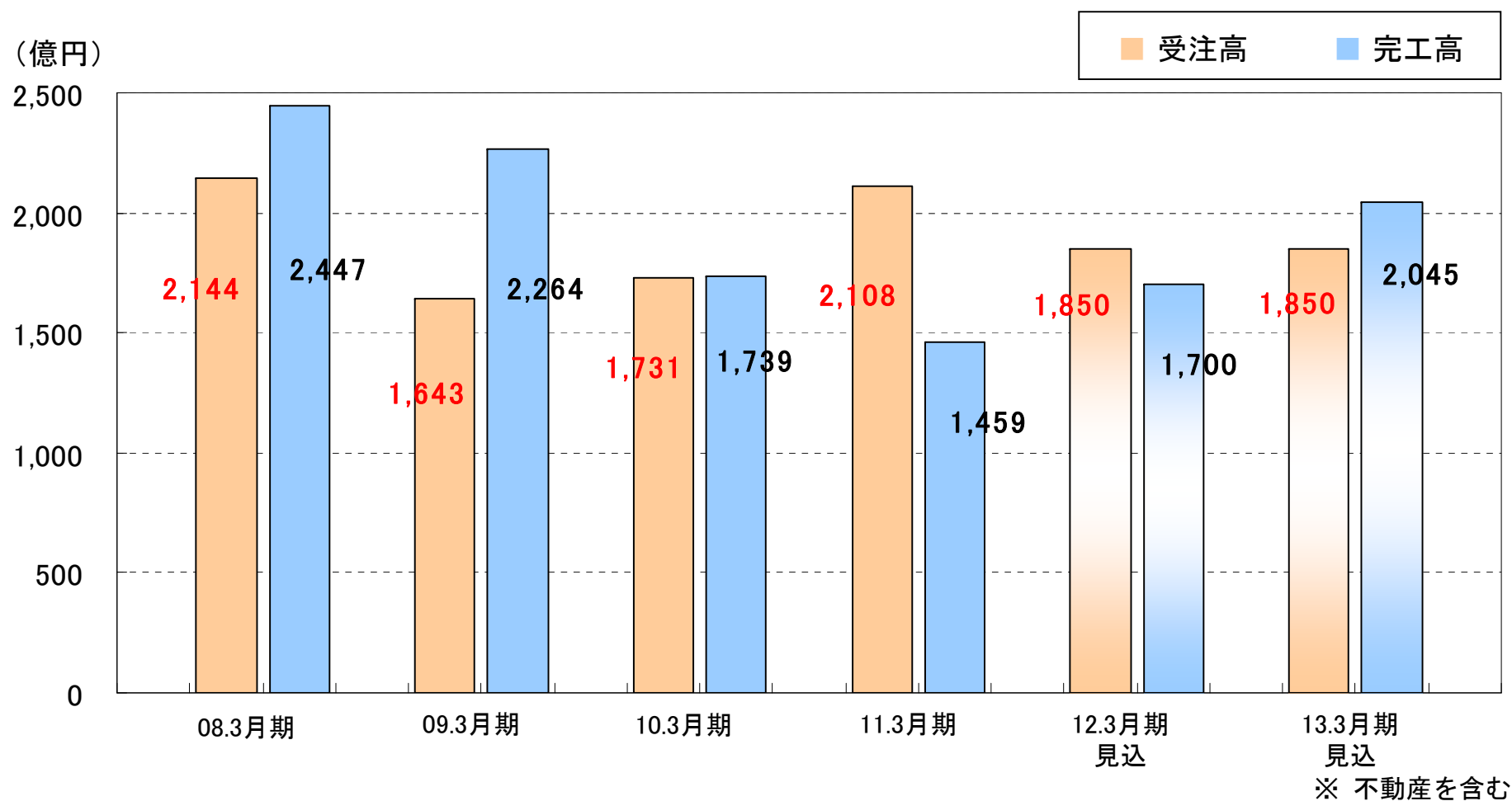


11

- 住宅分野の強みを活かした受注高の確保(11.3月期)
- 教育研究・医療福祉分野の強化によるバランス維持(12.3月期)



11. 3月期を底として完工高は増加に転換

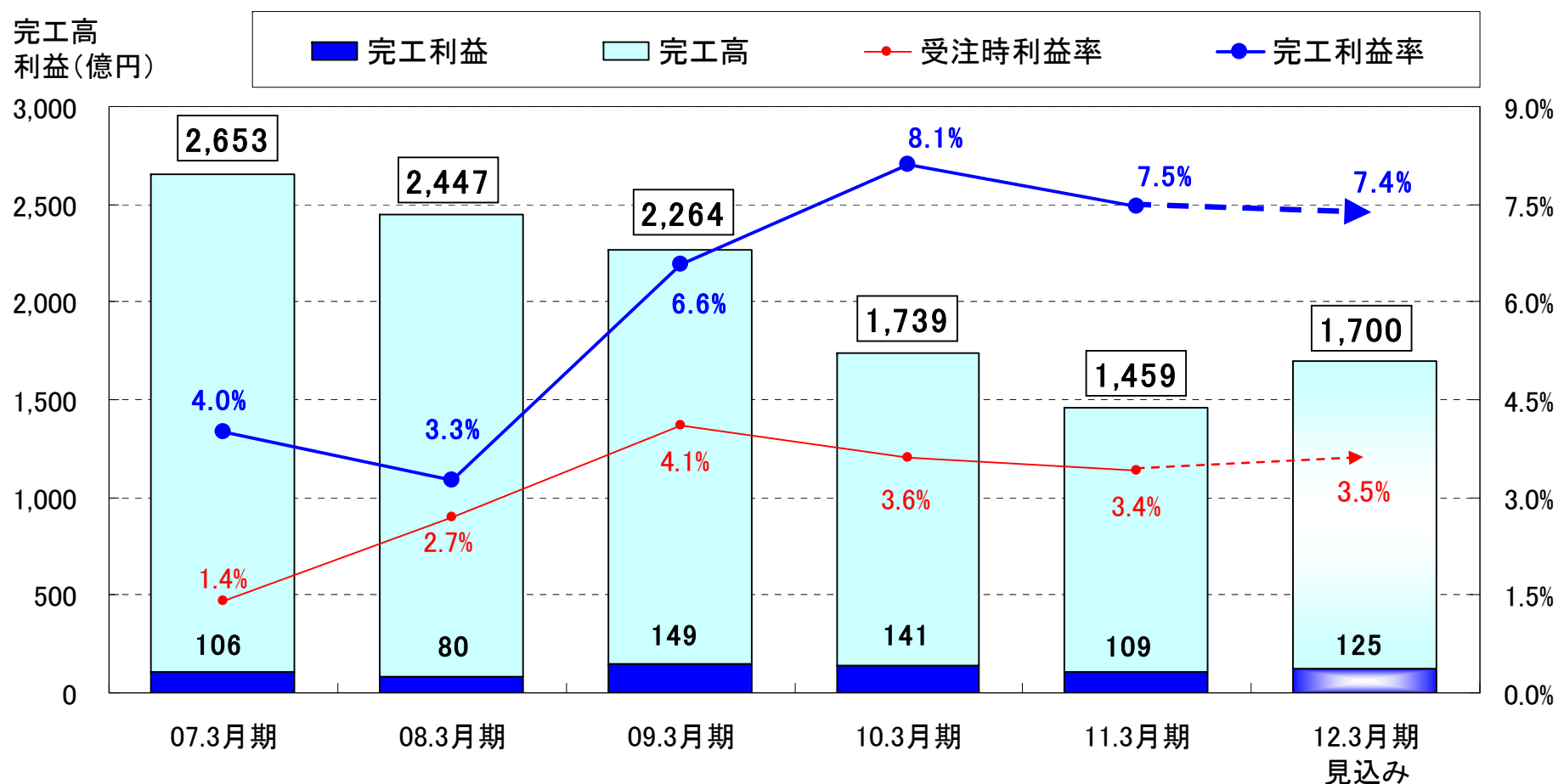


I-3-4. 建築事業 完工高と完工利益の推移

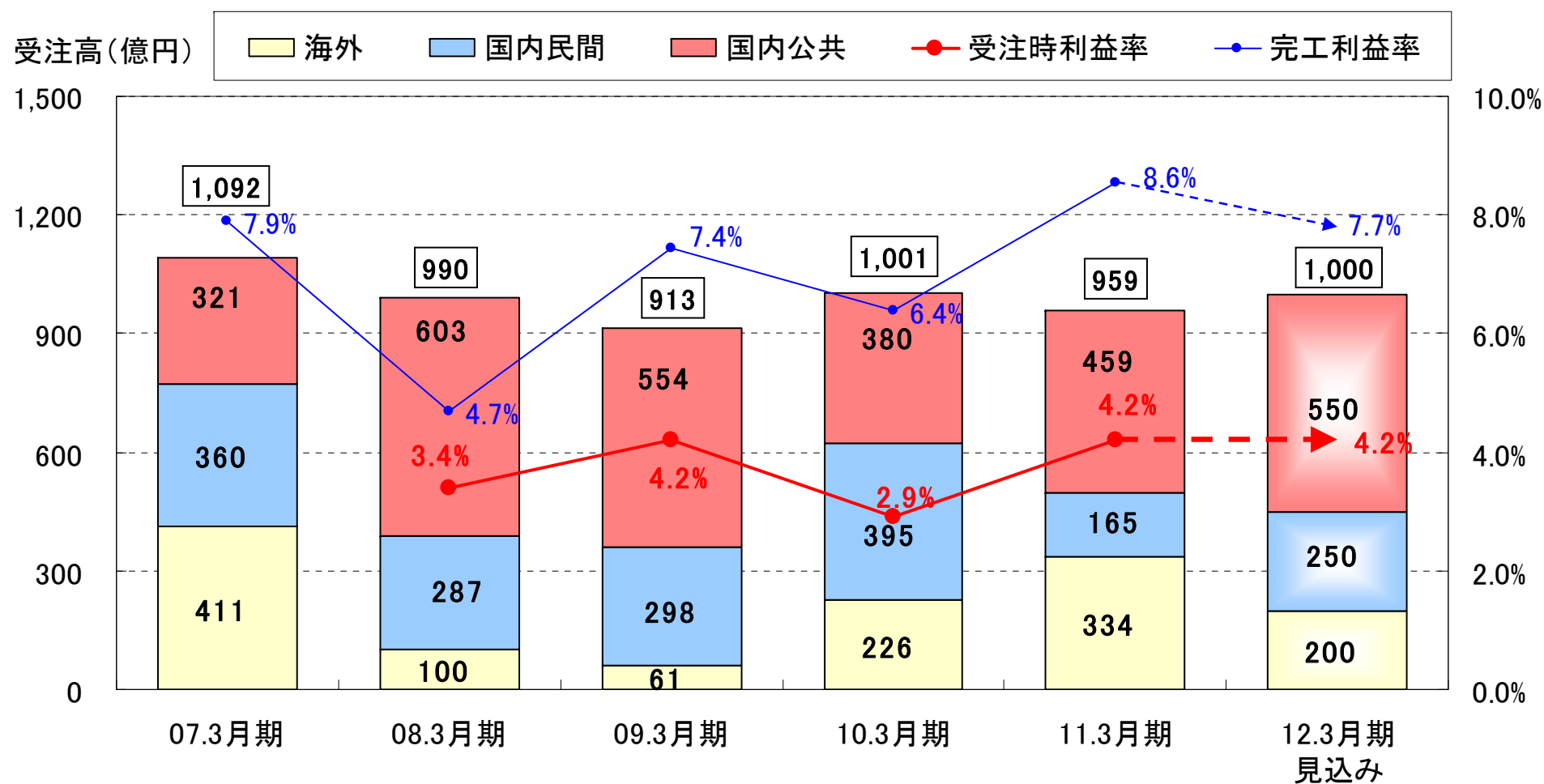
13

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

- 利益重視の受注をベースに底堅い完工利益率を維持
- 利益向上施策(クッションゼロ等)による利益率の押上げ



国内公共は挑戦案件選別と資源集中により回復基調

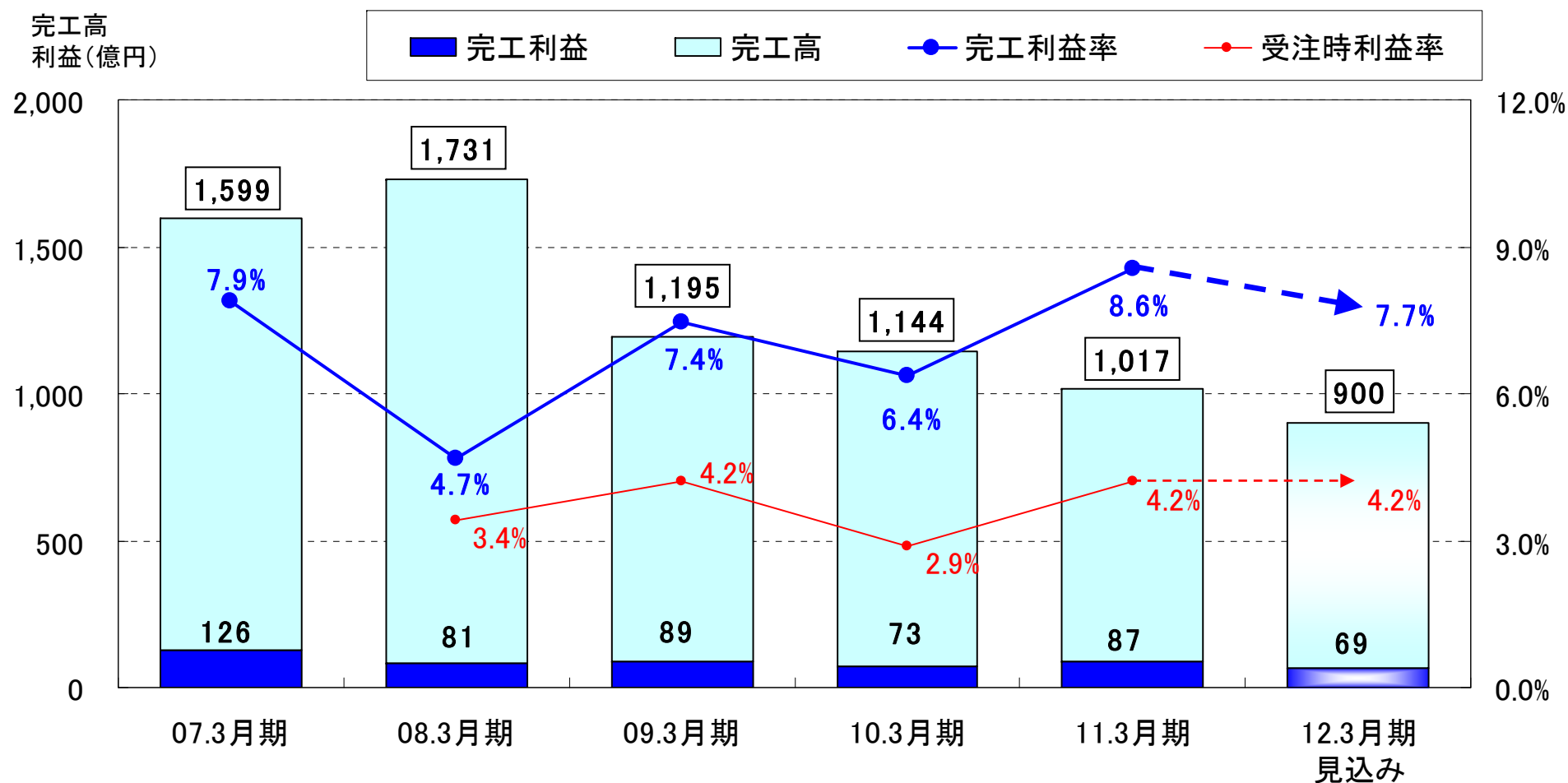


I-4-2. 土木事業 完工高と完工利益の推移

15

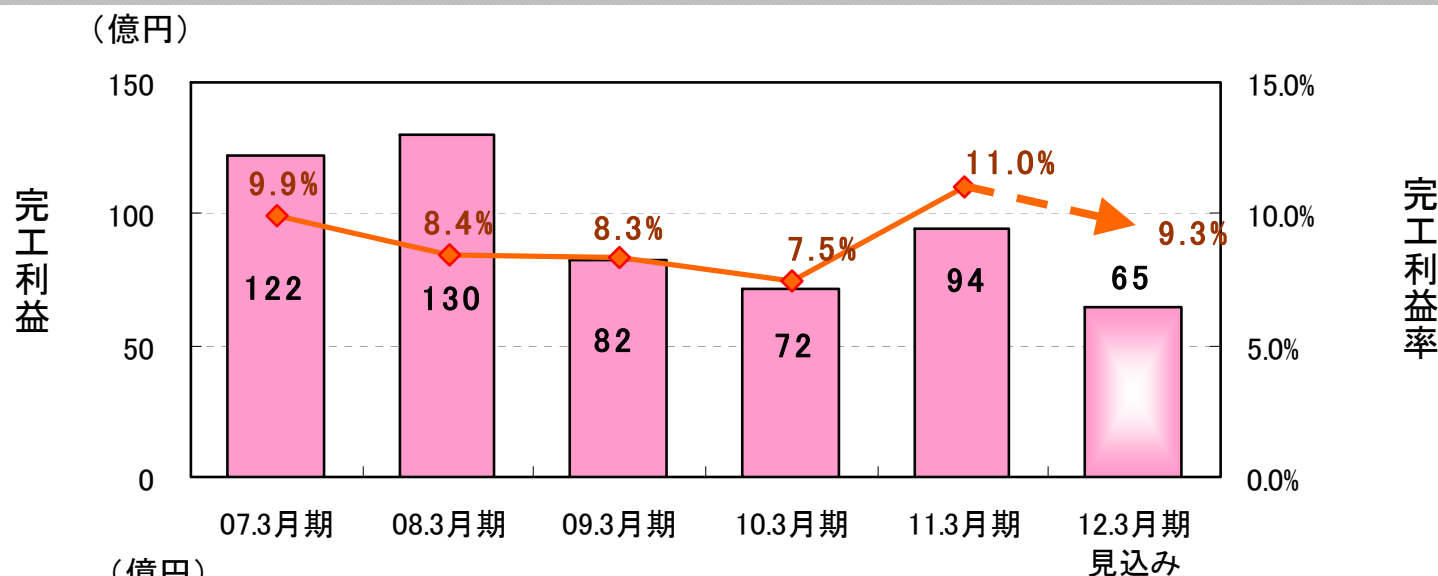
Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

利益の確保に注力

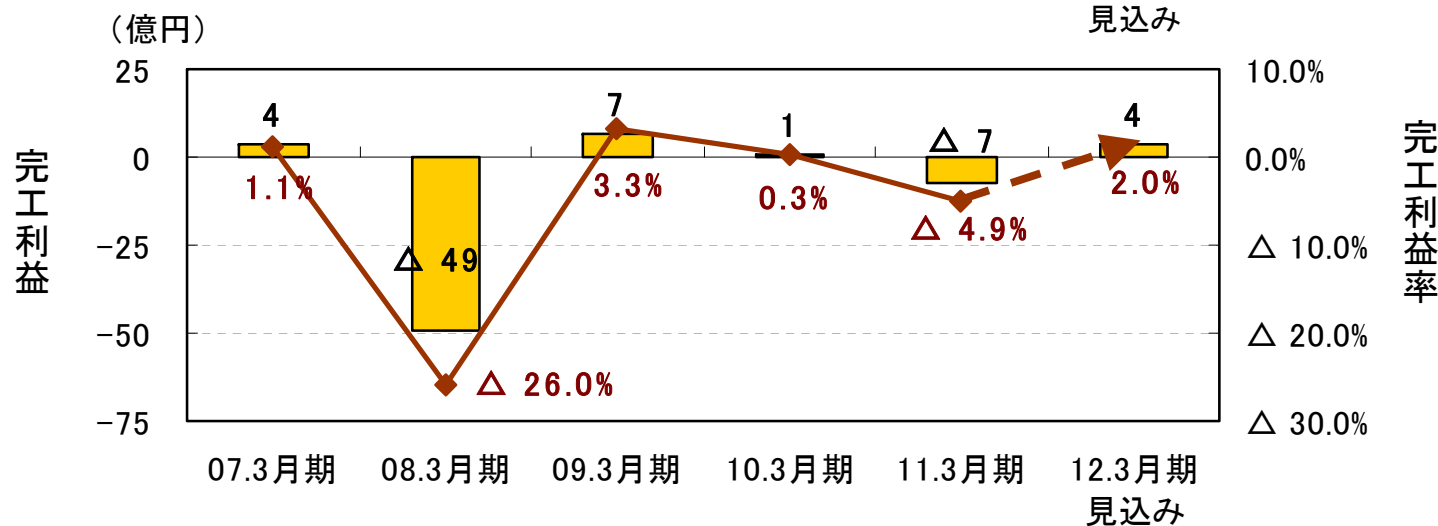


■国内は利益率が向上 ■海外は若干のマイナス

【国内】



【海外】

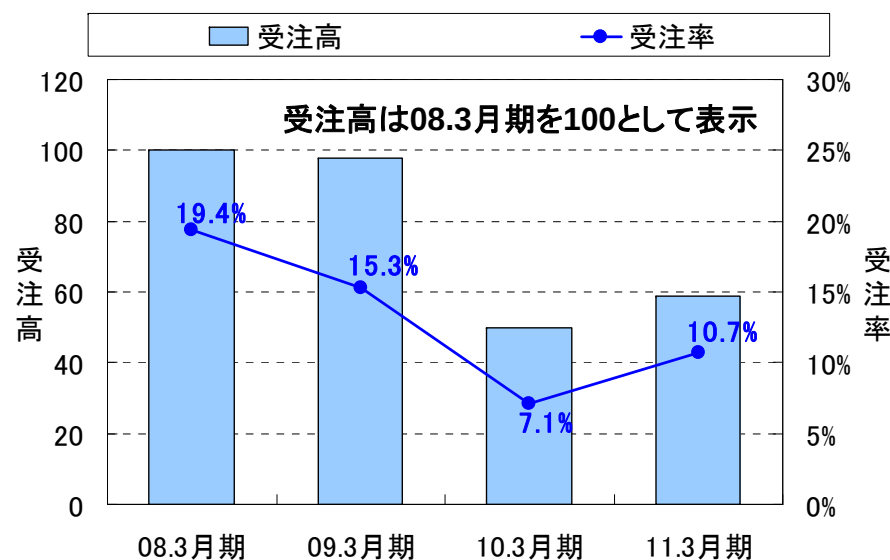


技術加算点1位獲得率と積算誤差が改善

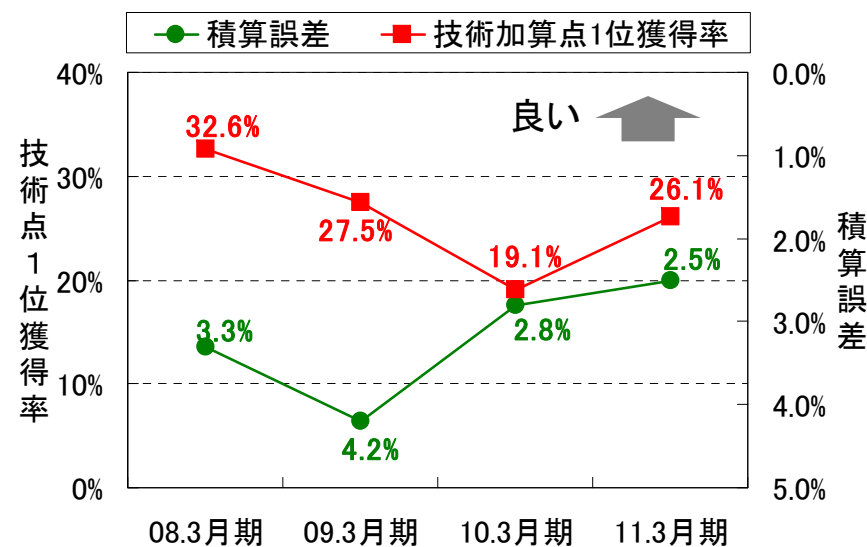
11.3月期は受注高、受注率ともに回復基調

技術加算点1位獲得率、積算誤差が改善

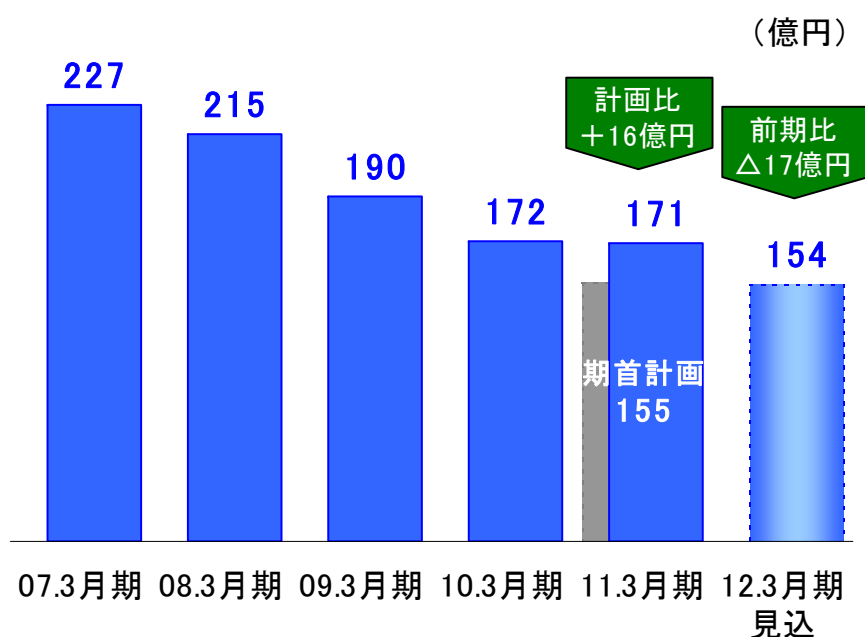
受注高、受注率(総合評価)



技術加算点1位獲得率、積算誤差

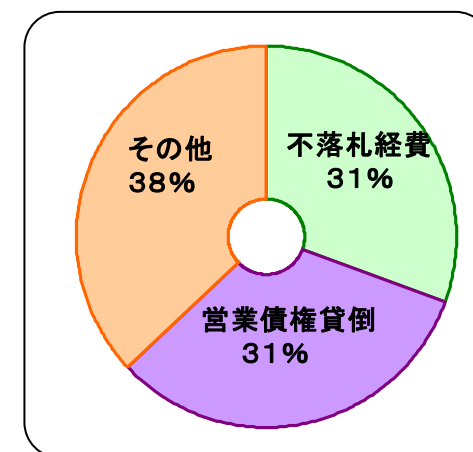


- 11.3月期：前期並みとなるも、計画比では大幅未達
- 12.3月期：特殊要因減少、本社移転によるスリム化・効率化



11.3月期

計画比+16億円の
主な要因



12.3月期

更なる削減に向けた主な施策

- 本社移転・組織変更による
経営資源の適正配置
- クッションゼロ推進による
業務の効率化 など

Ⅱ. 今後の取組みについて

震災復興

- 震災復興に貢献することが、建設業の社会的責任

震災による社会変化

- 社会資本整備の必要性が再認識
- 災害に強い国土づくり(防災意識の高まり)
 - ・新たな「まちづくり」の考え方も含めた防災計画の見直し
 - ・構造物の耐震補強、液状化対策の増加
- エネルギー政策見直しの可能性

中長期的市場動向

- 建設投資の大きな流れ 新規建設 → 維持・更新
- PPP、コンセッションなどの新たな市場の拡大
- アジアを中心とする新興国マーケットの拡大

●震災復興への取組みと今後の影響

- ▶ グループ力を結集して対応
- ▶ 災害に強い国土づくりに当社保有技術で貢献

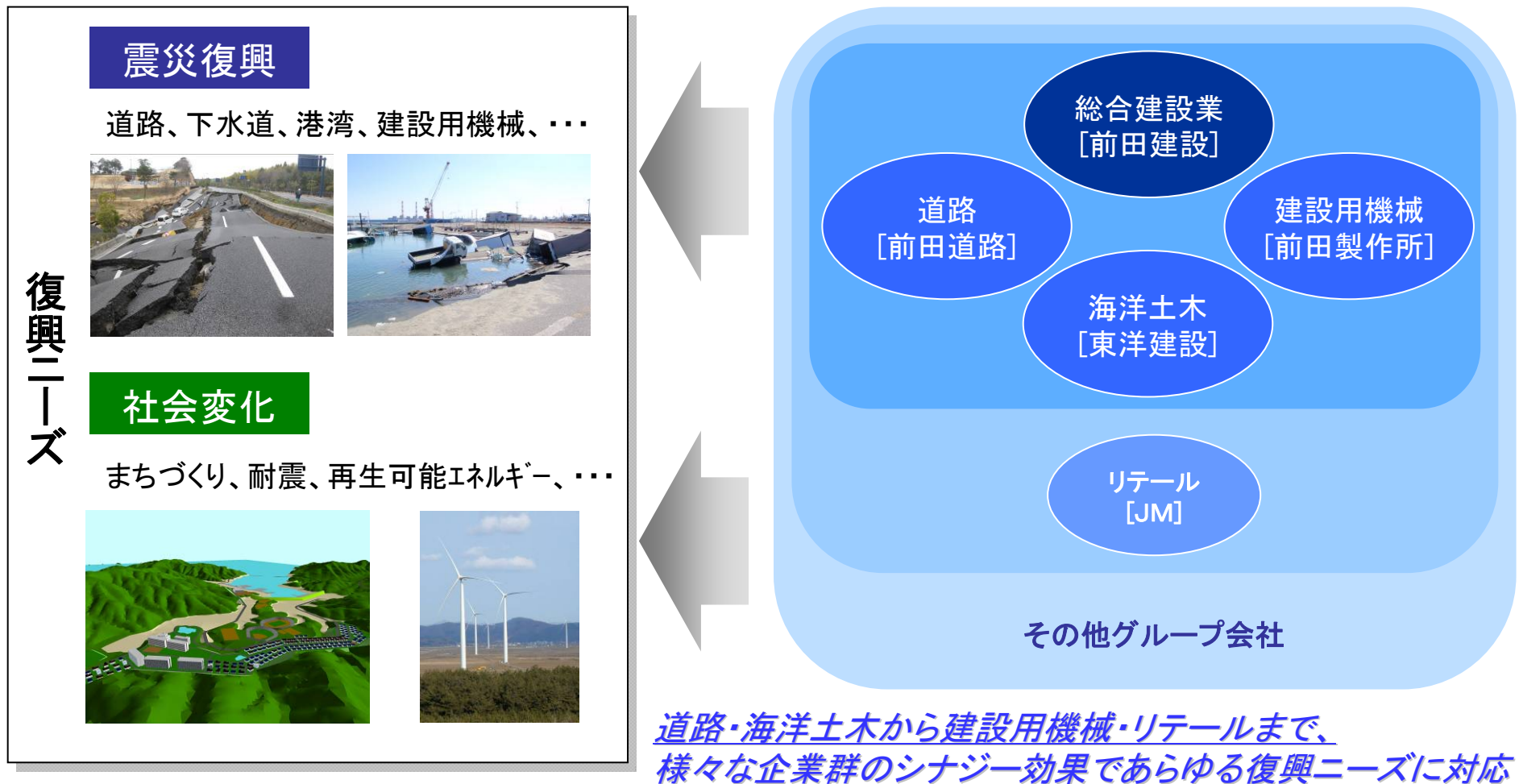
●中期経営計画への取組み

- ▶ グローバル化
- ▶ 脱請負
- ▶ 環境経営No.1

東日本大震災への主な対応

3月11日	●震災対策本部(本部長:小原社長)を本社に設置 ●BCP(事業継続計画)に基づき、被災状況の情報収集等を実施 ●職員・家族の安否を確認中 ●福島原子力発電所関連への対応を開始
3月12日	●水、毛布、ブルーシート、食料、仮設トイレ等の支援物資の搬送を開始
3月13日	●災害支援の職員を被災地に派遣するとともに、調査復旧活動を開始
3月14日	●政府・自治体・業界団体の要請(食料、仮設トイレ等の物資搬送)に対応開始
3月15日	●職員全員の安否情報を確認
以降	引き続き、支援物資搬送、調査復旧活動、職員家族等の安否確認を継続

グループ力を結集して、震災復興に取り組む (復興ニーズにマッチした特徴ある企業構成)



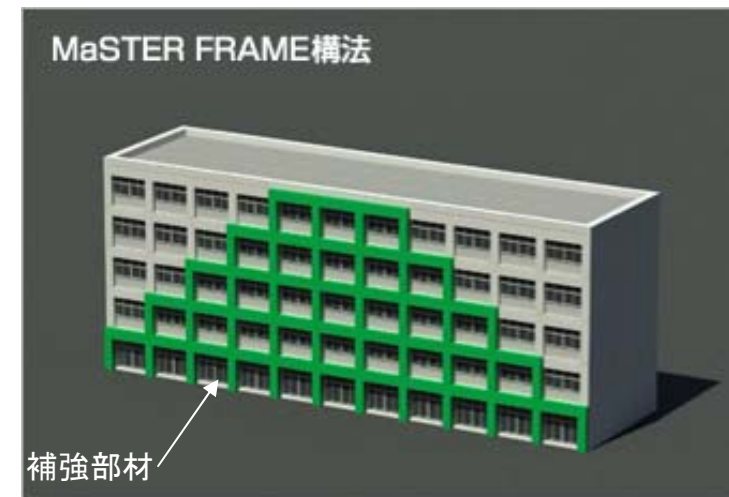
災害に強い国土づくりに当社保有技術で貢献

MaSTER FRAME構法

ー外付けRCフレーム耐震補強構法ー

【特徴】

- ・特殊アンカーとプレキャスト技術による工期短縮
- ・建物に立ち入らないため居ながら施工が可能
- ・開口部を遮らないため学校などへの適用容易



ディスクアンカー打設状況



PC部材取付状況



完成全景

災害に強い国土づくりに当社保有技術で貢献

液状化対策事例

- 岸壁における液状化対策事例
(マルチジェット工法、SIMAR工法)
- 東日本大震災においても、対策の効果により地盤の液状化を防止



マルチジェット工法

- セメント系固化材で地盤を固化する地盤改良工法
- 大口径(国内最大)、自由形状が可能
- 必要範囲を無駄なく改良できるため、
 - ・コストダウン(10~30%)
 - ・産廃減少(環境に配慮)



SIMAR(シマール)工法

- 砂地盤の液状化対策
- 吸水型振動棒締固め工法
- 改良効果が高く、最大40%のコストダウンが可能

その他多数の地盤改良工法、液状化対策工法を保有

●中期経営計画(2010～2012年度)

主な 施策

- グローバル化
- 脱請負
- 環境経営No.1

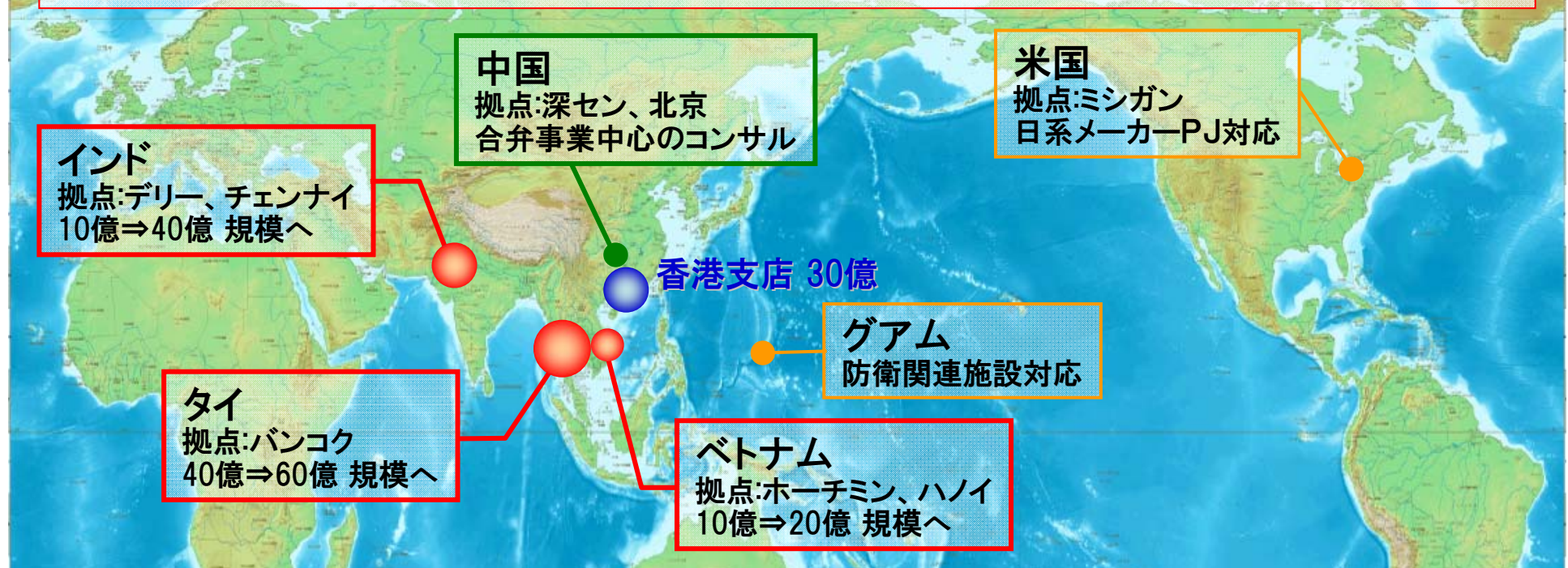
Ⅱ-4-2. 中期経営計画への取組み（グローバル化；建築）

27

Copyright 2011 Maeda corporation all rights reserved

- 東南アジア3カ国（タイ、インド、ベトナム）を海外建築事業の柱に
12.3月期 60億円規模 ⇒ 15.3月期 120億円規模を目指す

東南アジア統括センター（拠点：タイ）による営業・設計・経理などの集中管理と
各国状況の変化に応じたフレキシブルな支援を実施



- 中国でのコンサルティング業務の展開（万科集団との合併会社設立）
12.3月期 50万平米 ⇒ 15.3月期 150万平米 の取扱面積を目指す
将来的な業務範囲の拡大（新規事業、日系デベとの協働）を目指した業務展開

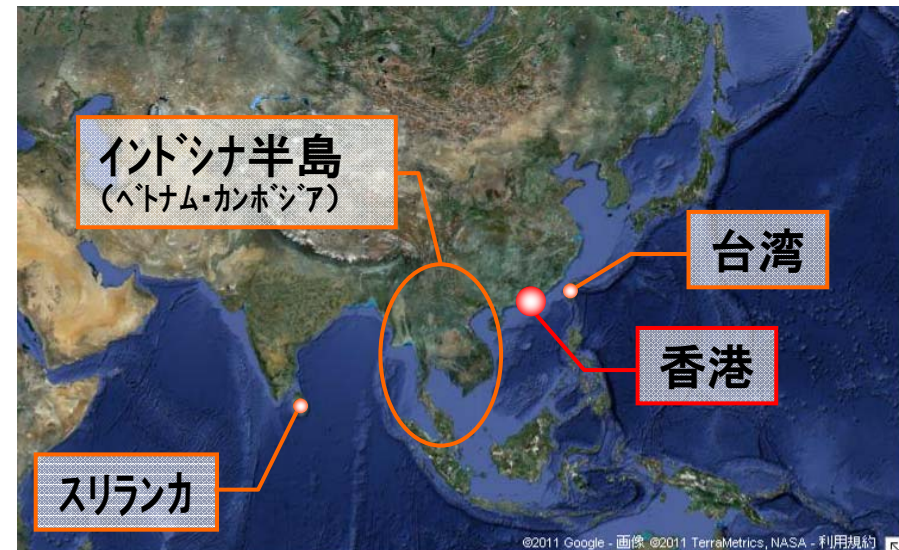
海外事業を新たな収益源に育てるための基盤づくり

戦略

- 売上高：200～300億円/年
（最大：土木売上げの30%程度）
- 対象地域：香港・東南アジア
（インドシナ半島中心）

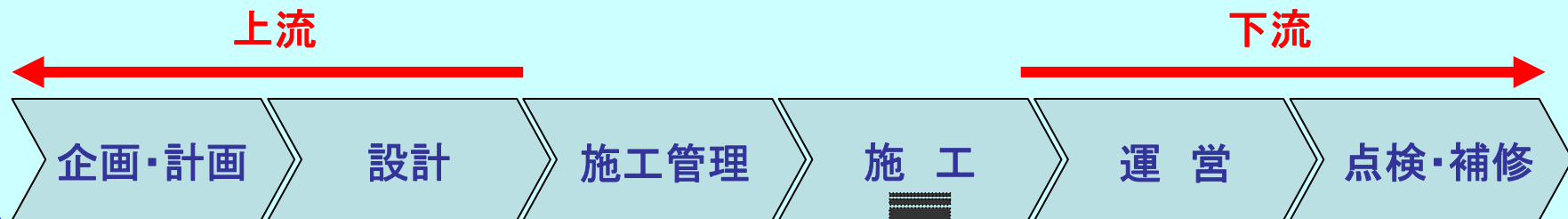
重点施策

- 人材育成
→ 海外人材育成プログラム実施（2010年度 5名）
- 東洋建設との連携
→ ベトナム案件への共同入札
- 現地企業（欧州系現地法人含む）との連携
→ ベトナム、カンボジアで有望企業の発掘・選定・連携



脱請負ビジネスとは

脱請負：自ら事業者となり、上流～下流（サービス）まで行い、事業全体で収益をあげる



施工請負（従来）：事業者から工事を受注

●官民事業

- ・上下水道の包括民間委託、コンセッション
- ・空港・港湾の民営化・コンセッション など

●民間事業

- ・風力発電事業 など

● 具体的取組み → 専門部署を新設し、国内外の案件検討を実施
(洋上風力、国内外PPP・PFI事業)

◆ 直轄部門 — 事業企画部

◆ 建築事業本部 — PPP推進部

数々の環境アワードを受賞

●環境経営No.1に向けた主な取組み

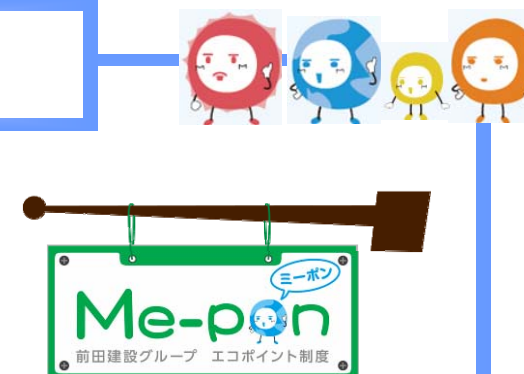
地球への配当（純利益の約2%を環境活動に拠出）

CO₂と廃棄物の削減活動の見える化

環境技術・サービスの開発

全社員・家族を含めた活動の推進

- ・Me-pon（前田版エコポイント制度）
- ・自転車通勤制度
- ・eco検定取得支援 など



環境経営度調査

主催：日本経済新聞社

環境対策と経営を両立させる取り組みを評価し、
ランキングするもの

→ 建設業中「**2位**」

日本が誇るべき企業100社

主催：日本財団

CSRの取組とその情報開示が進んでいる、
日本が誇るべきリーディングカンパニー100社のランキング

→ 全企業中「**62位**」， 建設業中「**3位**」

日本環境経営大賞

主催：三重県



優れた環境活動を表彰するため、2002年に制定

→ 環境経営部門 「**環境経営優秀賞**」

エコユニットアワード

主催：東京商工会議所



地球環境の保全及び再生を積極的に行っている
事業所等を表彰

→ 「**日経エコロジー賞**」
「**エコユニットアワード大賞**」受賞

その他

- ・3R推進功労者等表彰 「国土交通大臣賞」「会長賞」
- ・建設リサイクル推進奨励賞
- ・循環型社会推進功労者等環境大臣表彰
- ・緑の東京募金 感謝状 「都知事賞」



Ⅲ. トピックス

● 研究施設

工事名

T薬品 新研究棟新築工事

発注者 : T薬品

構造規模: S造免震、延床面積 9,552㎡

工期 : 2011年7月～2012年9月



● 流通施設

33

工事名

(仮称)AMB西淀川

ディストリビューションセンター新築工事

発注者 : AMB西淀川特定目的会社

構造規模: SRC造一部S造、延床面積 127,282㎡

工期 : 2011年3月～2012年5月



● 医療施設

工事名

香川県立中央病院建築工事

発注者 : 香川県

構造規模: SRC造、延床面積 約 45,000m²

工期 : 2011年1月～2013年3月



● 工場施設(海外)

34

工事名

NTNチェーンナイ工場新築工事

発注者 : NTN

構造規模: S造、延床面積 9,932m²

工期 : 2011年2月～2011年11月



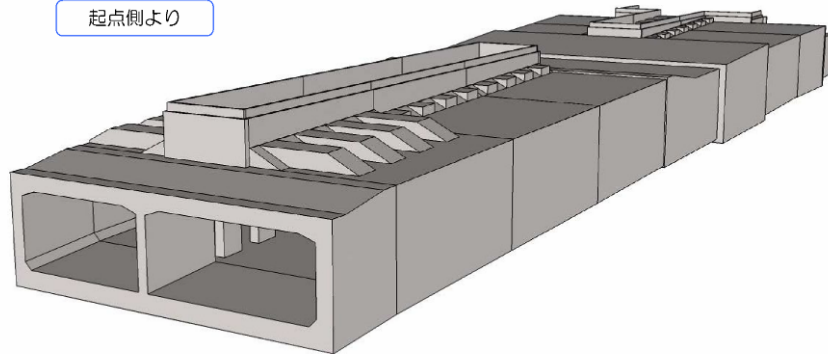
●開削トンネル

工事名 : 田尻地区函渠その2工事

発注者 : 国交省関東地方整備局
 工事概要: 片側2車線、延長160m
 工期 : 2011年3月～2014年3月



起点側より

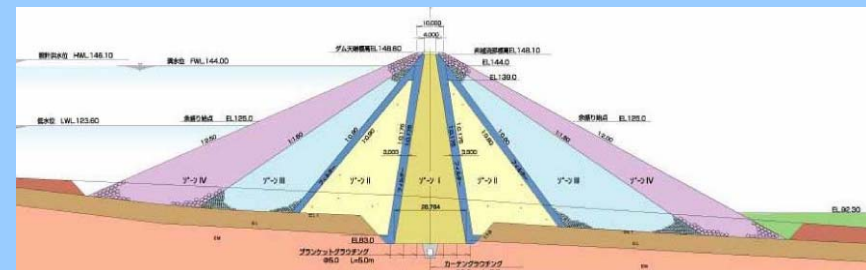


●ロックフィルダム

35

工事名 : 肝属中部(一期)農業水利事業荒瀬ダム 建設四期建設工事

発注者 : 農水省九州農政局
 工事概要: 堤高65.6m、堤体積166万 m^3
 工期 : 2011年3月～2014年3月



●山岳トンネル

工事名 : 国道108号花湊山4号トンネル工事

発注者 : 国交省東北地方整備局

工事概要: トンネル延長1,360m

工期 : 2011年1月～2013年3月



▲国道47号から鬼首方面を望む



●山岳トンネル

工事名 : 東九州自動車道落鹿トンネル工事

発注者 : 西日本高速道路(株)

工事概要: トンネル延長767m

工期 : 2010年12月～2013年6月



2011年3月期 決算詳細説明

2011年5月16日

前田建設工業株式会社

取締役専務執行役員 福田 幸二郎



I. 連結損益計算書	(1)
II. 連結貸借対照表	(3)
III. 連結キャッシュ・フロー	(4)
IV. 個別損益計算書	(5)
V. 個別貸借対照表	(6)

I. 連結損益計算書

1

(単位: 億円)

		2010.3月期		2011.3月期		実績		前期比 増減額 (b)-(a)	公表比 増減額
		実績		公表見込					
		(a)	(%)	(11/12)	(%)	(b)	(%)		
売上高		3,286	100	3,070	100	2,918	100	△368	△152
建設事業		2,946	89.7	2,735	89.1	2,625	89.9	△321	△110
	建築事業	2,946	89.7	1,665	54.2	1,597	54.7	△321	△110
	土木事業			1,070	34.9	1,028	35.2		
開発事業等		340	10.3	335	10.9	294	10.1	△46	△41
	不動産事業	340	10.3	85	2.8	72	2.5	△46	△41
	その他事業			250	8.1	222	7.6		
売上総利益		257	7.8	240	7.8	243	8.3	△14	3
建設事業		219	7.5	202	7.4	210	8.0	△9	8
	建築事業	219	7.5	120	7.2	119	7.5	△9	8
	土木事業			82	7.7	90	8.8		
開発事業等		37	11.1	38	11.3	33	11.2	△4	△5
	不動産事業	37	11.1	1	1.2	△0	△0.7	△4	△5
	その他事業			37	14.8	33	15.1		

I. 連結損益計算書

2

(単位: 億円)

	2010.3月期		2011.3月期				前期比 増減額 (b)-(a)	公表比 増減額
	実績		公表見込		実績			
	(a)	(%)	(11/12)	(%)	(b)	(%)		
販売費及び一般管理費	230	7.0	209	6.8	224	7.7	△6	15
営業利益	26	0.8	31	1.0	19	0.7	△7	△12
経常利益	35	1.1	22	0.7	13	0.5	△22	△8
当期純利益	23	0.7	18	0.6	△25	△0.9	△49	△43

2011.3月期 実績		
2010.3月期 実績		
営業外収益	39	29
受取利息・受取配当金	13	12
為替差益	5	-
持分法投資利益	17	13
その他	3	3
営業外費用	30	34
支払利息	24	23
為替差損	-	5
その他	6	5

2011.3月期 実績		
2010.3月期 実績		
特別利益	4	28
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	1	2
貸倒引当金戻入額	2	-
移転補償金	-	23
その他	0	2

2011.3月期 実績		
2010.3月期 実績		
特別損失	3	68
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	4	38
減損損失	1	5
販売用不動産評価損	-	10
貸倒引当金繰入額	1	10
過年度工事補償引当繰入	8	-
その他	3	3

Ⅱ. 連結貸借対照表

3

(単位:億円)

	2010.3月期	2011.3月期	前期比増減	増減の主な内訳
流動資産	2,239	2,037	△202	・完成工事未収入金(△57) ・販売用不動産(△61)
固定資産	1,610	1,523	△86	・有形・無形固定資産(△32) ・投資有価証券(△79)
資産 計	3,849	3,561	△288	
流動負債	1,576	1,411	△165	・短期借入金(△355)
固定負債	1,010	964	△45	・社債(△69)
負債 計	2,587	2,376	△210	・有利子負債残高1,165(△202)
株主資本	1,123	1,085	△37	・利益剰余金(△37)
その他の包括利益累計額	100	63	△36	・有価証券評価差額金(△36)
少数株主持分	38	34	△3	
純資産 計	1,262	1,184	△78	

有利子負債残高	1,368	1,165	△202
自己資本比率	31.8%	32.3%	0.5%
1株当たり純資産	691.89	649.66	△42.23

有利子負債残高	2012.3月期
	目標
(連結)	1,100

Ⅲ. 連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2010.3月期	2011.3月期	増減の主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	133	215	・売上債権の減少 (57) ・たな卸資産の減少 (44)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40	△31	・有形・無形固定資産の取得 (△26) ・投資有価証券の取得 (△31)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90	△212	・短期借入金の減少 (△205)
換算差額	△0	△2	
増減額	1	△30	
現金及び現金同等物の期首残高	288	290	
現金及び現金同等物の期末残高	290	259	

IV. 個別損益計算書

5

(単位: 億円)

		2010.3月期 実績		2011.3月期				前期比 増減額 (b)-(a)	公表比 増減額
				公表見込		実績			
		(a)	(%)	(11/12)	(%)	(b)	(%)		
完工高		2,882	100	2,600	100	2,476	100	△406	△123
建設事業		2,781	96.5	2,525	97.1	2,414	97.5	△366	△109
	建築事業	1,636	56.8	1,475	56.7	1,397	56.4	△239	△77
	土木事業	1,144	39.7	1,050	40.4	1,017	41.1	△127	△32
不動産事業		101	3.5	75	2.9	62	2.5	△39	△12
完工利益		213	7.4	190	7.3	196	8.0	△16	6
建設事業		217	7.8	188	7.4	195	8.1	△22	7
	建築事業	145	8.9	108	7.3	107	7.7	△37	△0
	土木事業	72	6.4	80	7.6	87	8.6	14	7
不動産事業		△4	△4.0	2	2.7	1	3.0	5	△0
一般管理費		172	6.0	155	6.0	171	6.9	△0	16
営業利益		41	1.5	35	1.3	25	1.0	△16	△9
経常利益		41	1.4	18	0.7	13	0.5	△27	△4
当期純利益		24	0.9	15	0.6	△23	△1.0	△48	△38

V. 個別貸借対照表

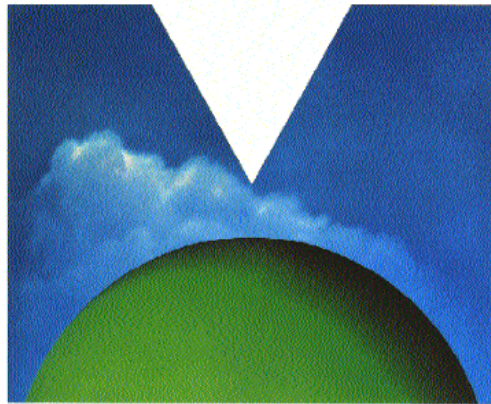
6

(単位:億円)

	2010.3月期	2011.3月期	前期比増減	増減の主な内訳
流動資産	2,002	1,813	△188	・完成工事未収入金(△40)
固定資産	1,314	1,225	△88	・販売用不動産(△59)
資産 計	3,316	3,039	△277	・有形・無形固定資産(△22)
				・投資有価証券(△91)
流動負債	1,400	1,290	△109	・短期借入金(△198)
固定負債	916	823	△93	・社債(△70)
負債 計	2,317	2,114	△202	・長期借入金(△23)
				・有利子負債残高986(△191)
株主資本	900	863	△36	・株主資本(△36)
評価・換算差額等	99	61	△38	・有価証券評価差額金等(△38)
純資産 計	999	924	△74	

有利子負債残高	1,178	986	△191
自己資本比率	30.1%	30.4%	0.3%
1株当たり純資産	539.92	499.63	△40.29

有利子負債残高	2012.3月期
	目標
(個別)	950



M A E D A

【お問い合わせ先】

前田建設工業株式会社

総合企画部長 細川 雅則

TEL : 03-5217-9513

FAX : 03-5217-9621

e-mail : hosokawa.m@jcity.maeda.co.jp

●この資料には、2011年5月16日現在の将来に関する見通し、及び計画に基づく予測が含まれており、確約や保証を与えるものではありません。経済情勢の変動等の様々な要因により、見通し予測等が実際の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご活用下さい。
